

連携だより おおもり日赤



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

夏号（第24号）

平成21年7月発行

日本赤十字社東京都支部

大森赤十字病院

〒143-8527

東京都大田区中央4丁目30番11号

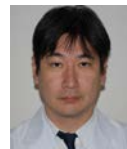
TEL03-3775-3111(代)

FAX03-3776-0004(代)

★★★「外科の診療内容および特色のご紹介」★★★



第一外科部長 佐々木 慎



本年4月に第一外科部長として着任しました。ご挨拶を兼ねまして、現在の大森赤十字病院外科の診療内容および特色についてご紹介させていただきます。当科では消化器・一般外科および乳腺外科の診断と治療を行っております。具体的には、消化管全般（食道、胃、十二指腸、小腸・大腸）の疾患、肝臓・胆嚢・膵臓など実質臓器の疾患、乳腺の疾患などですが、急性虫垂炎や消化管穿孔など緊急手術を要する症例や、内視鏡的胃瘻造設、ヘルニア疾患（鼠径・大腿ヘルニアなど）、下肢静脈瘤、肛門疾患（痔核、肛門周囲膿瘍、痔瘻など）、体表の疾患（粉瘤、脂肪腫など）も扱っております。治療の主体は手術となりますが、手術後の定期的な検査や加療を要する場合は、引き続き当科で診させていただきます。癌の再発などをなるべく早期にとらえて、手術や抗癌剤治療など適切な治療を行うことができるようにしております。さらには、本院の緩和医療チームとともに、緩和ケアについても熱心に取り組んでおり、手術のみでなく術後のフォローを含めたこのようなトータル医療の提供こそ我々の使命と考え、患者さんが安心して治療を受けていただくことができるように努力致しております。現在、外科のスタッフは5人で、全員が上記にお示した多岐にわたる当科の医療に対応できるようにトレーニングしておりますが、各々得意分野を持っております。私の場合は、とりわけ、大腸に関する治療を最も得意としております。日本大腸肛門病学会の指導医を取得しており、最近では、腹腔鏡を利用して小さな開腹創で手術を行う腹腔鏡補助下大腸切除術を適応症例に対して積極的に行っております。また手術のほかに、最近特に大腸の分野で著しく進歩しております抗癌剤治療についても多くの経験を積み重ねており、より専門性の高い医療を提供しております。また下記にお示しますように、さまざまな学会・集会での活動を通して、up to dateな知識・情報を常に吸収して、ひとりひとりの患者さんにとって時代に即した最適な医療を提供していくことを信念としております。皆様には安心して患者さんを紹介していただけるよう、外科スタッフ一丸となって診療に当たっていきますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

《2007年以降の筆頭演者としての発表（一部）》

- ① 40回制癌剤適応研究会「癌抑制遺伝子のメチル化、DNAコピーナンバーのスクリーニングによる抗癌剤感受性規定因子の探索」
- ② 第8回川崎市中部・消化器カンファランス「当院外科における大腸癌の臨床病理学的特徴」
- ③ 第62回大腸肛門病学会「大腸粘液癌の臨床病理学的特徴および補助化学療法の意義に関する検討」
- ④ 第69回日本臨床外科学会「大腸低分化型腺癌の臨床病理学的特徴」
- ⑤ 第63回日本消化器外科学会「85歳以上高齢者の大腸癌手術におけるPOSSUM、P-POSSUM、CR-POSSUMの有用性」
- ⑥ 第19回日本消化器癌発生学会「hRFI過剰発現が示す5-FU抵抗性のメカニズムの解明」
- ⑦ 第70回日本臨床外科学会「90歳以上超高齢者の全身麻酔下手術に対するPOSSUM、P-POSSUMの適応性」
- ⑧ 川崎東部進行再発大腸癌学術講演会「当院におけるBevacizumabの使用経験」
- ⑨ 第109回日本外科学会「Stage II大腸癌における予後規定因子の解析」
- ⑩ 第64回日本消化器外科学会「根治度Aの中分化型大腸癌の再発リスク因子の検討」（2009年7月予定）



★★★第 15 回診療に役立つガイドラインセミナー ★★★

白内障診療ガイドライン(2002)

🌸 眼科部長 秋山 朋代 🌸

今回は「白内障診療ガイドライン(2002)」と題し、3つのテーマについて講演した。

👓 ① 白内障について(科学的根拠(evidence)に基づく白内障診療ガイドラインの策定に関する研究(2002)に準じて)

白内障は、水晶体が何らかの原因で混濁する病気である。原因は先天性と後天性に分かれ、後天性の多くは加齢である。そのほかに糖尿病、ステロイド薬、外傷、アトピー、放射線、紫外線などが危険因子である。白内障の有病率は60歳代で55～83%、80歳以上で100%。70歳以上の30.3%は白内障手術が必要か、白内障手術後であるとの報告がある。白内障の症状は、視力低下、霧視感、羞明、昼盲、単眼複視、屈折異常(近視・乱視)の進行などがある。初期の白内障では、視力が良好であってもコントラスト感度が低下したり、明るいところで「見にくい」とか「まぶしい」ために物体が見分けにくく(グレア難視)なったりする。

白内障治療には薬物療法(点眼・内服)、対症療法(眼鏡処方・対象物の拡大・遮光眼鏡など)、手術療法があり、手術は日常生活に不自由を生じたときに適応となるが、緑内障・眼底疾患の適切な治療のために必要となることもある。手術方法は進歩しており、眼内レンズが使用されるようになって術後のQOLは明らかに上昇した。現時点では小さな切開創から行う超音波乳化吸引術が主流である。手術後に水晶体上皮細胞が増殖した後発白内障が発生して視力低下することがあり、レーザー治療が有効である。

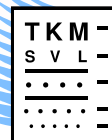
👓 ② 白内障に関する最近の話題

新しい種類の眼内レンズとして、着色眼内レンズ、多焦点眼内レンズがある。着色レンズは、短波長光線の透過率を減らし、黄斑変性や術後の青視症の予防に、また多焦点レンズは術後の眼鏡の必要性を減らすために開発された。

閉塞隅角緑内障に対する水晶体再建術の有効性が確認されつつある。

👓 ③ 当院での白内障手術の現状

当院での水晶体再建術(超音波摘出術+眼内レンズ挿入術)は昨年度442件(日帰り41件)施行。基本は小切開無縫合手術、点眼麻酔(状況により全身麻酔)で行い、片眼につき2泊3日の入院、予定手術までの待機は約4～6週間(緊急性のある場合は除く)である。年代別には80歳代156件、90歳代12件と高齢者が多いが、各診療科のバックアップを受け、安心して手術できることがなによりの特徴であるといえる。



● 大森赤十字病院基本理念

信頼され心あたたまる病院

● 基本方針

- 安全で質の高い・患者さまの立場にたった丁寧な医療を提供します。
- 救急医療の充実と発展に努めます。
- 地域医療連携を推し進めます。
- 災害救護に積極的に取り組みます。
- 経営の健全化を図りその成果を医療活動に還元します。
- 医療従事者の教育と研修を推進します。

★★★退職医師紹介★★★

★ 整形外科医師 福田 敏尚

～お世話になりました～

★★★連携室よりお知らせ★★★

NEW!

《FAX予約について》



患者様のご紹介予約および検査予約を電話でのみ行っておりましたが、この度FAXでの予約を受けられることと致しました。個人情報保護のためFAX用紙には患者氏名は記入しないことと致しますが、FAXを受けたら当院連携室より折返しお電話を入れますので、患者情報をご教示ください。ポイントメントの調整は当院連携室が患者様のご自宅または携帯電話に直接連絡を入れて行います。このシステムにより先生方は診療を中止することなく予約が可能です。

つきましては、『FAX予約申込書』を新しく発行いたしましたので、必要がございましたら送付させていただきますので、連携室までご連絡ください。

なお、従来通り電話での予約申込も行ってまいります。

《消化器科予約のご案内》

H21.6.1より、消化器科外来予約に連携室専用の予約枠ができました!

火曜日：太原 洋医師	} 9：30～10：00 各2名
水曜日：諸橋 大樹医師	
木曜日：井田 智則医師	

※なお、後藤医師の診療日は随時予約可能です。



《精神神経科のご案内》

精神神経科の受診は**完全予約制**とさせていただきます。予約をいただけない場合には、当日受診出来ない場合もございますので予めご了承いただきますようお願い申し上げます。

★★★登録医のご案内★★★



大森赤十字病院における地域連携システムの趣旨に賛同し、登録医に申請して頂ける先生方は是非ご登録下さいますようご案内申し上げます。

詳細につきましては医療連携室までお問い合わせください。



《医療連携室のご案内》

受付時間 月～金 8：30～17：00
担当 看護係長 友岡道子
事務担当 鈴木文子、水村加織
休診日 土曜日、日曜日、祝祭日
年末年始（12/29～1/3）
5月1日（日本赤十字社創立記念日）
TEL 03-3775-3676（直通）
FAX 03-3775-3653
URL <http://www.omori.jrc.or.jp/>
発行人 大森赤十字病院 医療連携係

